



# 希望の星だより

令和6年8月号  
 発行 希望の星保育園  
 園長 兼城 佐代子  
 編集 知念・山城  
 さくら・仲村  
 ☎ 972-3800

高く澄み切った空！照りつける太陽！本格的な夏が来ました。  
 園庭で虫探しや水あそび、しゃぼん玉など夏ならではの遊びに夢中の子ども達。  
 見て触れて、観察する表情も真剣です。お部屋に戻ると図鑑を片手にバッタの  
 種類を言い当てたりと虫博士のようです。

海外ではオリンピックが開催され、様々な競技で世界中の選手が目標に向かっ  
 て頑張っています。喜ぶ姿や悔しがる姿などをみると勝負の世界の厳しさを感じ  
 ることができます。それ以上にお互いを称え合う姿は感動や勇気も与えてくれま  
 すね。保育園でも行事を通して、チャレンジする気持ち、あきらめない姿などを  
 育てていけるような環境を整えていきたいものです。

園では子ども達が快適で健康的に過ごせるよう、熱中症予防や体調管理には十分  
 に留意し、無理のない保育を進めていきたいと考えています。冷たいものが欲しく  
 なる時期ですが、バランスの取れた食事・十分な休息・睡眠をとり暑い夏を乗り切  
 っていきましょう。



## 8月の行事予定



日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
				1	2 スイミング	3
4	5	6 リズム	7 体操教室	8	9 スイミング	10
11	12 山の日	13 身体測定	14	15お誕生会 (お弁当) 避難訓練	16 ウンケー	17
18 ウーケイ (旧盆)	19	20 リズム	21 体操教室	22	23 スイミング	24
25	26	27	28	29	30	31

### らいおん組 体験学習！楽しかったよ



スイカわり！



アニマルライト作り！壁・押し入れ  
 ではどんな風に映るかな？



いい笑顔



園長先生～  
 アニマルライト  
 完成したよ。

楽しかったね！





# クラスだより



## (0才児) <目標>

☆十分な休息をとりながら、一人ひとり快適なリズムで過ごす。  
☆水や砂などに触れ、夏ならではの遊びを保育者と一緒に楽しむ。

体調が良い日はベランダにて水遊び！

バケツに水を溜めて手でパシャパシャ！！水が顔にかかってもへっちゃらで時にはバケツの水を思いきりひっくり返してしまう事も。。水の感触を存分に楽しんでいる子ども達です。夏ならではの開放的な遊びを出来るだけ取り入れていきたいと思っています。もちろん、たくさん遊んだ後は、十分な休息をとっていきます。しっかり食べて、睡眠を取り体調管理にも十分に気をつけていきます。夏バテしないように、暑くて長～い夏を乗り切りましょうね。

また、ご家庭では色々なイベントも計画している事と思います。無理なく安全に過ごしていけるようご配慮をお願いしますね。



## (1才児) <目標>

☆暑さに負けず、夏ならではの遊びを楽しみながら元気に過ごす。  
☆個々の生活リズムを大切にしながら暑い夏を快適に過ごす。

暑い夏が続いてますが、そんな暑さにも負けず子ども達は元気いっぱい。熱中症対策に気を付けながらお散歩や、園庭と、それぞれが好きな遊びを見つけ十分に楽しめるように、夏ならではの遊びも沢山取り入れていきたいと思えます。

食欲の旺盛な子の多いりす組ですが、最近はいイヤヤ期の兆候に見られる子ども・・・。自己主張やイヤイヤも成長の証！個性や好みも出てくる時期です。好き嫌いせずしっかり食べて欲しい気持ちもありますが、楽しい食事こそ心と体の栄養！美味しく楽しく食べれるように、工夫していきましょうね。疲れも出やすい時期なので家庭でも十分な休息を心掛けていきましょう。



## (2才児) <目標>

☆夏ならではの体験を保育園と家庭とで経験していく。

夏本番!! 天気の移り変わりに子ども達も窓の外を見て「今日は、晴れ～!、雨～!」と気付けるようになっていきます。晴れた日には、園庭にて水遊びを予定しています。水の気持ち良さを感じたり、十分な休息や水分補給をとり、暑い夏を涼しく過ごせるように保育を進めていきたいと思えます。体調を崩したり食欲をなくしたりしてしまう事があるかもしれません。健康管理に十分注意して、みんなで夏の遊びを楽しみたいと思えます。

暑い日には、着替えをこまめに行いますのでTシャツ・ズボン・肌着・パンツを多めに用意し持たせて下さいね♡よろしくをお願いします(^\_^)



## (3才児) <目標>

☆自分の好きな遊びを見つけて楽しむ。  
☆こまめな水分補給や休息が取れるようにし個々の体調に留意する。

夏本番を迎えましたが子ども達は暑さに負けず元気一杯のばんだ組です。今お気に入りの遊びは粘土遊び。保護者の皆さんに準備して貰った粘土ケース、粘土板を使い「これ〇〇のだよね」と嬉しそうに型取りしたりちぎって丸めたりと集中して遊んでいます。粘土は、指先を使う遊びの中で脳に良い刺激を与え子ども達の発想力、創造力や表現力を養うとも言われています。楽しみながら一人ひとりの個性的な部分や良い所を伸ばしていきたいと思えます。

まだまだ暑い日が続くので体調管理に気をつけながら過ごしていきたいと思えます。



## (4才児) <目標>

☆夏ならではの遊びを十分に楽しむ。  
☆ひまわり、夏野菜を育てよう!

体験学習を終え、一回り大きく自信に満ちた顔の子ども達です。体験を通して先生やお友達と協力しあう、思いを伝えるとの関り観察する力・考え工夫する力も見えてきました。これからの保育の中や成長に繋げていきたいと思えます。

さて、今月は夏ならではの遊びも楽しませながら園庭で育てている夏野菜にも興味・関心を広げたいと思えます。夏野菜のナス・オクラ・ゴーヤの苗もぐんぐん生長し、4月に植えたイネも稲穂が垂れるくらい生長しています。そして今では給食のデザートに出てくるスイカやオレンジの種にも興味津々。なんとスイカの種からは芽がでました～！子ども達の好奇心を大切に、ワクワク感を一緒に楽しみたいと思えます。

2

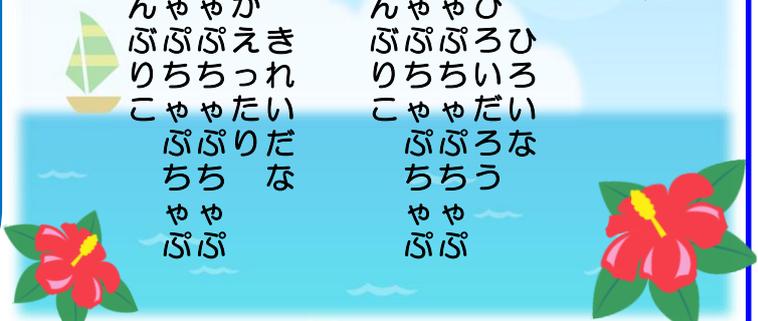
1

ざざざなう  
んんんみみ  
ぶぶぶがだ  
りりりい  
こここっ  
たみ  
ざちちりだ  
んややか  
ぶぶぶえき  
りちちっれ  
こやちたい  
ぶぶりだ  
ちちな  
やち  
ぶぶ

さざざおう  
んんん空み  
ぶぶぶとだ  
りりりど  
こここっ  
ちみ  
ざちちがだ  
んやちひ  
ぶぶぶろひ  
りちちいろ  
こやちだい  
ぶぶろな  
ちちう  
やち  
ぶぶ

「うみ」

今月のうた





# ほけんだより

保健だより 第2号  
希望の星保育園  
令和6年8月1日  
園長 兼城佐代子  
看護師 安村幸美

連日、暑い日が続いています。  
体力を消耗しやすく、食欲も落ちやすい時期ですが、たくさん食べてしっかりと  
休息をとり、体調の変化に気を付けながら元気に夏を楽しみましょう。

## 熱中症はどうして起こる？

体には熱を逃がす働きがある

運動すると体がポカポカして汗が出てきます。皮膚の表面から熱を逃がしたり、汗を蒸発させて体温を下げたりして、体内の温度が上がりすぎるのを防いでいるのです。



### 熱中症の危険があるとき

気温が高い  
皮膚から熱が放出されにくくなる  
湿度が高い  
汗が蒸発しにくくなる  
水分不足  
体内の循環が悪くなって熱を放出しにくくなる。  
急に暑くなった  
体が暑さに慣れていないため熱の放出がうまくいかない

### 熱中症を疑ったら

涼しいところへ移動し、衣服をゆるめて風通しをよくし、頭を低くした状態で寝かせます。  
塩分水分を含んだイオン飲料をこまめに少しずつ与えましょう。

## 熱中症を防ぐ4つのポイント!!

- ① 気温や注意報をよく見る  
気温や湿度が高いときや、暑さ指数が「警戒」「厳重警戒」「危険」の時は、屋外での活動を控えましょう。
- ② 水分補給は前もって  
小さな子どもは「のどがかわいた」といえません。出かける前、遊ぶ前に水分を取らせ、その後もこまめに少しずつ飲ませましょう。
- ③ 暑さに体を慣らそう  
暑いからといって外に出ないと、体が暑さに慣れずかえって熱中症のリスクが上がります。適度に外で遊んで、暑さに慣らしておきましょう。
- ④ 無理をしない  
外で活動している時、体調が悪くなった時はもちろん、元気で顔が真っ赤で汗をたくさんかいているのは、体内の温度が上がっているサイン。すぐに涼しい場所で休ませ水分をとらせます。



## 夏の肌トラブル

### 蚊にさされた時

大人が蚊に刺されるとすぐにはれ、じきに治まります。ところが、小さな子どもは、刺されてしばらくたってから、びっくりするほど大きく腫れて水ぶくれができることもあります。かき壊さないよう早めに手当をしましょう。

#### ケアは

- ① 刺されたところを水で洗い流します。
- ② かゆみ止めを塗ったり、ぬらしたタオルやハンカチで包んだ保冷剤などを当てたりして、かゆみをやわらげます。



### とびひができた時

皮膚をかきむしって傷ができたところに細菌が感染して、ジクジクした湿疹（とびひ）ができます。とびひは感染力が強いうえにひどくかゆいため、かいた手で体のほかの部分に触ると、そこにも湿疹が広がります。

#### ケアは

シャワーを浴び、皮膚の清潔を保ちます。かき壊して広がる、周りに感染するのを防ぐためにガーゼなどで保護することがあります。

#### 治療は

抗菌薬の塗り薬を使います。よくなりえない時は抗菌薬の内服をします。

## 予防接種を受けましょう

予防接種は、自分が病気にかかるのを防ぐだけでなく、人に感染させてしまうことで園や社会全体にその病気がまん延するのを防ぎます。

また、病気にかかったとしても重症化を防げる場合もあります。



## 肌トラブルを防ぐために

- 皮膚を傷つけないようにつめを短く切る
- かゆみをやわらげるように冷やす、かゆみを止めを塗る
- 治りが遅い、広がった、湿疹が変化したときは、小児科や皮膚科を受診